

チャペル週報

No. 3

2012 .4 .23 ~ 4.27

愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。

(ローマの信徒への手紙12:9-10)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 4月23日(月) 神 神 田 健 次 (神学部教授)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
人 藤 井 美 和 (人間福祉学部教授)
聖和 聖書物語「ノアの箱舟、バベルの塔」
-
- 4月24日(火) ランバスチャペルアワー「絆」ランバス記念礼拝堂
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 山 内 一 郎 (名誉教授)
社 グリークラブ
法 音楽チャペル ハンドベルクワイア
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 音楽チャペル エゴラド
国 関西学院大学宗教総部の皆さん
聖和 教育学部チャペルオルガニスト
総 エコハビタット関西学院
-
- 4月25日(水) 神 「知らないということ」浅野 淳博 (神学部教授)
社 建学の精神② 打 樋 啓 史 (宗教主事)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
人 讃美歌を歌おう③ 聖歌隊
国 カルトから身を守る(1) 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 「根っこを育てる」橘 実千代 (聖和短期大学准教授)
理 「礼拝と音楽」理工学部アンサンブル
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)
-
- 4月26日(木) 神 「完全に知られているように」東 よしみ (神学部助教)
文 音楽チャペル 聖歌隊
社 社会学部東日本大震災支援ボランティアバス報告④ 関 嘉寛 (社会学部准教授)、学生有志
法 「音楽と新約聖書」シリーズ① ハンドベルクワイア
経 関西学院グリークラブ
商 English Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
国 English Chapel Eun Ja Lee (宣教師)
聖和 イースター礼拝「十字架のコチラとムコウ」小見のぞみ (聖和短期大学宗教主事)
総 バロックアンサンブル
-
- 4月27日(金) 院 阪 口 新 (神学部M2年)
神 「Think Locally, Act Globally 一知ることから一」榎本てる子 (神学部准教授)、氏田 楓 (社会学部2年)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 混声合唱団エゴラド
人 中 野 陽 子 (人間福祉学部教授)
聖和 田 淵 結 (教育学部宗教主事)
理 「何事にも時がある」松 木 真 一 (宗教主事)
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
4月27日(金) 神学部のために 中 道 基 夫 (神学部教授)

知の循環

北 山 雅 博

私は、地元周辺や大阪市内を自転車にのり、あてもなくあちこち走りまわっています。珍しいもの、面白い看板等を発見し、写真に撮ることを趣味にしています。特に天満周辺が大好きでよく訪れます。そのうち、なぜ天満の駅前に古い赤レンガの壁があるのか、不思議に思うようになりました。いつも環状線の車窓から見えるレンガ色の建物は何か。天満の高速道路下の両脇に建ち並ぶ古い建物には、なぜ玄関や看板がないのか。色々と疑問がわき出しました。そこで、たまたま新聞で告知されていた催し「天満周辺のまち歩き」を見つけて参加したのです。

案内人の方から、前述のレンガの壁は明治時代の工場の塀であること、車窓から見たレンガ色の建物は明治時代に建てられた大きな紡績工場の建物で、現在でも金属会社の事務所として使用されていることを教わりました。この紡績工場は、日本で初めて女工さんたちがストライキを起こした工場であることも分かったのです。高速道路は天満堀川を埋め立てて造られたため、高速道路側は建物の裏側にあたるのです。そのため玄関は反対側の通りにあることを教えていただきました。

まさに「歴史を歩く」感があり、楽しく学ぶことができたのです。普段なにげなく眺めている風景にも、それがつくられた背景や理由を学ぶことにより、ますます愛着を覚え、さらに新たな疑問も湧いてきます。

一方で、人に教えたくくなりました。私が案内人となって、教わったことや勉強したことを説明し、そのことを通して参加者が驚き、感心し、納得されることで、私自身が充実感を味わうこともありました。そして、市や博物館等が主催する「大阪のまち歩き」に積極的に参加するようになりました。帰ってからは、案内人の方から説明を受けた事柄について、文献や古地図等を買って調べるようにもなりました。

この様な私の一連の行動を、池上彰氏は、彼の著書『伝える力2』（PHPビジネス新書）の中で“知の循環”という言葉で表現しています。引用しますと“知の循環”とは「自分が興味をもつ→調べる、学ぶ→誰かに伝える→興味をもって聞いてもらえる→聞いた人は誰かに伝えたいくなる、あるいは自分でもっと調べたいくなる」という様に連鎖することです。

大学には、大勢の案内人（先生、先輩）や伝える人（友人）がそろっています。まず興味を持つことが大切ですが、とりあえず、じっとしていないで「まち歩き」に出かけてみたらいかがでしょうか。

（吉岡記念館事務室職員）

●チャペル・オルガニスト募集

関西学院では毎年チャペル・オルガニストを募集しており、本年は4月28日（土）にオーディションを行います。採用されますと個人レッスン（有料）を受けることができ、チャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身に付けることができます。

応募方法：「募集要項」「応募用紙」を西宮上ヶ原キャンパス吉岡記念館事務室宗教センター、神戸三田キャンパス事務室（1号館キャンパス担当）、西宮聖和キャンパス事務室（1号館教育学部担当）で受け取り、記入した「応募用紙」はその事務室に提出してください。また電子メールの添付ファイルでも受け付けます。

☆ 「募集要項」「応募用紙」がダウンロードできます。
http://www.kwansei.ac.jp/c_christian/index.html
[学生団体の紹介](#)にあります。

応募期間：4月2日（月）～4月26日（木）の事務室開室時間
お問い合わせ・資料請求：吉岡記念館事務室宗教センター
電話：0798-54-6018、E-mail：organist@kwansei.ac.jp

●関西学院イースター礼拝

イエスの復活を覚えて、関西学院のルーツを探してみましょ。参加者にはイースターエッグ（ゆで卵）をプレゼントします。

と き：4月25日（水）17:00～18:00

と ころ：ランパス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

主 催：関西学院宗教活動委員会

協 力：応援団総部吹奏楽部、宗教総部、グリークラブ、混声合唱団エゴラド、チャペルオルガニスト、聖歌隊、ハンドベルクワイア、ゴスペルクワイアP.O.V.、バロックアンサンブル、聖書研究会ポプラ

●第190回ランパス演奏会

「英国バラードからイタリア初期バロックへ」

平井満美子／歌 佐野健二／リュート、アーチリュート

と き：4月26日（木）17:00開演

と ころ：ランパス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

主 催：宗教センター <入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストとして活動しており、現在までに発売されたデュオCD全てが雑誌「レコード芸術」の推薦盤に選ばれ、デュオリサイタルに対しては「大阪文化祭本賞」を受賞するなど各方面から注目されています。

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプロズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。（18:00～18:20 1405教室）

4月27日（金）Andreas Rusterholz（文学部宗教主事）

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部分室に募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。